

第19回福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会 報告書

日 時：令和8年7月30日(木) 13:30～15:05

場 所：福井大学医学部附属病院 B棟東2階医療環境センター会議室

委員長：高倉 正博 金沢医科大学病院 医療安全部長

委 員：安川 繁博 福井県医師会 副会長

委 員：草桶 秀夫 前福井工業大学環境情報学部 教授

委 員：吉川 奈奈 杉原・きっかわ法律事務所 弁護士

議 題

1. 第18回医療安全管理業務監査委員会議事録（案）の確認について

2. 監査事項

- 1) 2025年度オカレンス（インシデント）報告について
- 2) カスタマーハラスメントの取組について
- 3) 第20回医療安全管理業務監査委員会議題について
- 4) その他

1. 第18回医療安全管理業務監査委員会議事録（案）の確認について

第18回医療安全管理業務監査委員会議事録（案）について内容の確認を行い、各委員から特に意見はなく、原案どおり承認しました。

2. 監査結果

1) 2025年度オカレンス（インシデント）報告について

事項別、職種別、影響度別等にまとめられていました。また、患者間違いについても要因について詳細な分析がなされていました。同じオカレンス（インシデント）についても複数の報告がなされている現状は、医療安全文化が醸成されていると考えます。

2) カスタマーハラスメントの取組について

患者・家族等からの暴言や不当な要求が増加する中、職員の精神的負担や業務遂行への影響を踏まえ、基本方針および対応フローチャートを整備し、病院全体の問題として組織的に対応しています。

3) 第20回医療安全管理業務監査委員会議題について

- ・病院内部のハラスメント対策と事例報告について
 - ・Aiを活用したインフォームドコンセントの記録化の進捗状況について
 - ・昨年度と同様に院内部署のラウンド実施について
 - ・レベル4以上のインシデント発生の多い部署についての考察
 - ・福井大学医学部附属病院の医療ミスを防ぐ、取り組み、研究について
- これらが、次回の議題として提案された。

4) その他

特になし。

総括

オカレンス（インシデント）報告について、詳細な集計と分析がなされている点を確認いたしました。手術室における報告・収集システムは非常に優れているため、同様の仕組みを病棟など他部署へ展開することもぜひ検討いただきたいと思います。

初期研修医による報告件数が少ない点は課題ですが、今回、報告が義務化されたことですので、今後どのような事案が報告され、分析に活かされていくか、次回の報告を期待しております。

採用２年目までの若手職員による患者間違いが多いというデータに基づき、的確な注意喚起を行っている点は、非常に素晴らしい取り組みです。

また、カスタマーハラスメントに対しても、具体的な対応フローを整備し、職員の安全を守る環境を構築されていることを高く評価いたします。

特定機能病院として、質の高い安全管理体制が維持されていることが確認できました。今後もこの取り組みを継続し、さらなる安全性の向上に努めていただくようお願いいたします。

令和８年８月３１日

福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会

委員長：高倉 正博

委員：安川 繁博

委員：草桶 秀夫

委員：吉川 奈奈